

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価

所属 0001102210 資産経営課資産経営係

事務事業 02268 公共施設等総合管理事業

電話番号 0566-71-2210

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	17行財政運営			
施策の取組	002	効率的な行財政運営			
事務事業	018	公共施設等総合管理事業			
事業期間	平成28年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市公共施設等総合管理計画、安城市公共建築物個別施設計画、安城市公共建築物保全計画				
備考					

【事業分析】

対象	将来に渡り市民が
目的	市民サービスの質を落とすことなく公共施設等の利用を継続できることを目的としています。
手段	安城市公共施設等総合管理計画等に基づき、各公共施設を適正に維持保全します。
事務内容	直近3か年の保全整備の実施年度を建物の劣化状況を踏まえ調整した「短期保全計画」を策定し、施設の状況に合った保全整備を実施します。また、建物の劣化状況を把握するために、劣化点検や構造耐久性等調査を実施します。

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		35,682	59,087	34,457
事業費	事業費	8,882	32,077	18,397
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,882	32,077	18,397
	人件費計	26,800	27,010	16,060
	正規（人）	4.00	3.70	2.20
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行いました。	公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行いました。	公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行います。

事務事業評価シート（2 / 2）

2 頁

令和 8年 8月12日
14時29分02秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0001102210 資産経営課資産経営係
事務事業 02268 公共施設等総合管理事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
各施設の保全整備	施設数	0.00	24.00	21.00
		33.00	27.00	0.00
構造耐久性等調査（中性化試験）	棟数	0.00	9.00	10.00
		16.00	11.00	0.00
構造耐久性等調査（鉄筋腐食確認）	棟数	0.00	3.00	1.00
		0.00	3.00	0.00
構造耐久性等調査（外壁塗膜等アスベスト含有試験）	棟数	0.00	26.00	20.00
		16.00	26.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		施設の所有者である市が実施する必要があります。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
理由		市民が安心して施設を利用するためには、適正な管理が必要です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
理由		計画通り実施しました。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		施設の日常点検のDX化を検討しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		適正な施設管理を実施しました。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント （400文字）	計画に基づき、各公共施設の保全整備を実施しました。施設の状況の把握に努め、引き続き適切な管理を実施する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント （400文字）	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価

所属 0001102220 資産経営課資産管理係

事務事業 02397 土地取引関連事務

電話番号 0566-71-2210

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	028	土地取引関連事務			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	国土利用計画法、公有地の拡大の推進に関する法律、安城市土地取得審査委員会要綱				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・公拡法に基づく買収協議に係る事務 ・土地開発公社事務 ・土地取得審査委員会事務				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	土地取引に係る総務事務経費。 国土法、公拡法、県等への土地取引、土地開発その他類似の調査依頼に対する回答の作成、報告。 土地取得審査委員会の開催等用地買収及び処分に係る市全体の調整。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト	事業費	6,937	5,952	4,741
	国庫支出金	907	112	726
	県支出金	0	0	0
	地方債	25	2	10
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
		882	110	716
	人件費計	6,030	5,840	4,015
	正規（人）	0.90	0.80	0.55
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	・国土法に基づく届出 5 5 件 ・公拡法に基づく届出 6 件 ・土地開発公社 取得 1,667.99㎡ 処分 0㎡ ・土地取得審査委員会 9 回開催	・国土法に基づく届出 6 2 件 ・公拡法に基づく届出 5 件 ・土地開発公社 取得 6,719.58㎡ 処分 3,716.04㎡ ・土地取得審査委員会 7 回開催	・国土法に基づく届出 ・公拡法に基づく届出 ・土地開発公社 取得 処分 ・土地取得審査委員会 1 2 回開催

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102220 資産経営課資産管理係
事務事業 02397 土地取引関連事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	法に基づき、市で実施しています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	届出窓口及び事業の推進に繋がります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	会議の効率化に努めています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	法に基づく業務につき、他市との差異はありません。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	法律に基づき、地方公共団体で受け付けることになっており、現状どおり取り組んでいきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102220 資産経営課資産管理係
事務事業 02398 普通財産管理事業 電話番号 0566-71-2210

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	029	普通財産管理事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	公有財産規則、公有財産事務取扱規程				
備考					

【事業分析】

対象	普通財産（土地・建物）の
目的	適正管理と併せ有効活用を行う
手段	・普通財産である市有地の草刈り・草取り（年 3 回）、修繕を適正に行い、周辺住民へ迷惑がかからないように管理しています。 ・また、有効活用を考え、安城市公有財産規則に基づいた価格で貸付を行っています。 ・可能なものについては、積極的に売却をしています。
事務内容	・普通財産として管理している市有地の有効活用として、駐車場と店舗の貸付を行います。 ・普通財産として管理している市有地を適正に管理するとともに貸付・売却等により有効活用を図ります。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		47,426	30,539	45,235
事業費	事業費	25,651	12,654	30,635
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	25,651	12,654	30,635
	一般財源	0	0	0
	人件費計	21,775	17,885	14,600
	正規（人）	3.25	2.45	2.00
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	市有地修繕 市有地草刈 普通財産台帳整備	市有地売却手続 市有地修繕 市有地草刈 普通財産台帳整備	市有地売却手続 市有地修繕 市有地草刈

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102220 資産経営課資産管理係
事務事業 02398 普通財産管理事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
建物活用率	%	0.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00
土地活用率	%	0.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由 必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由 有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
4	理由 効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由 公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	適切な売却及び貸付を行い、有効活用に努めています。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	所有する普通財産の維持管理を適切に行い、有効活用を推進していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001102220 資産経営課資産管理係

事務事業 02399 損害賠償・保険事務

電話番号 0566-71-2210

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	030	損害賠償・保険事務			
事業期間	平成 8年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	市有建物等の保険に加入し、市民の安全確保と事故発生時の対応に備えます。

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		5,644	5,319	6,363
事業費	事業費	3,299	2,764	4,538
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	2,112	652	1,030
	一般財源	1,187	2,112	3,508
	人件費計	2,345	2,555	1,825
	正規（人）	0.35	0.35	0.25
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	市民総合賠償補償保険 加入、 建物総合損害共済加入	市民総合賠償補償保険 加入、 建物総合損害共済加入	市民総合賠償補償保険 加入、 建物総合損害共済加入

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102220 資産経営課資産管理係
事務事業 02399 損害賠償・保険事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	地方公共団体が加入できる保険であるためです。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	施設管理者として、市民の財産を守る保険への加入は必須です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	個人情報漏えい保険にも引き続き加入しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	市有財産の保有状況に応じ、適切な負担金の保険へ加入します。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	市所有の建物等に対し、地方公共団体が加入できる保険の加入を継続していきます。 また、市の業務執行等の瑕疵による賠償保険の加入も不可欠でありますので、継続していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102220 資産経営課資産管理係
事務事業 02400 公用車整備事業 電話番号 0566-71-2210

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	031	公用車整備事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	道路運送車両法、同法施行規則、労働安全衛生法				
備考					

【事業分析】

対象	職員が
目的	安心安全に庁車を利用できるためです。
手段	車検・点検・修理を外注委託により行っています。
事務内容	道路運送車両法及び労働安全衛生法に基づき、庁用自動車を安心安全に運行できるよう、車検、定期点検等の維持管理を行います。

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		31,143	37,658	41,795
事業費	事業費	25,113	31,088	35,955
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	25,113	31,088	35,955
	人件費計	6,030	6,570	5,840
	正規（人）	0.90	0.90	0.80
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	公用車の整備 ・車検整備 163 台 ・定期点検 196 台 ・一般修理等 139 台	公用車の整備 ・車検整備 139 台 ・定期点検 206 台 ・一般修理等 147 台	公用車の法定点検、車検及び修繕。 自賠責保険及び任意保険加入。 公用車更新。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102220 資産経営課資産管理係
事務事業 02400 公用車整備事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
車検・定期点検	%	0.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	行政サービスの迅速な提供にあたり、公用車整備は必要です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	行政サービスの迅速な提供にあたり、公用車は不可欠です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	目標数値を達成しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	職員は点検整備の発注のみとし、業務の効率化を図っています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	法に基づき、適切な点検整備を専門業者に委託し実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	公用車を法律に基づき適切に維持管理しています。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

9 頁
令和 8 年 8 月 12 日
14 時 29 分 12 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102220 資産経営課資産管理係
事務事業 02402 森林保護対策事業

電話番号 0566-71-2210

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	005	1 6 環境			
施策の取組	004	脱炭素社会の推進			
事務事業	001	森林保護対策事業			
事業期間	平成 3 年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	安城市を始めとする矢作川流域住民の
目的	環境保全や水源の涵養に役立つ
手段	毎年、委員会を開催して問題点を話し合い、補修や針広混交林化を行う適所を選定し、維持管理に努めていきます。
事務内容	矢作川水源の森環境育林事業（4 7. 15 h a の山林を期間の定めのない協定に基づき根羽村と共同で維持管理し、これまでの人工林をより自然に近い針広混交林化を目指します。）矢作川の最上流の水源涵養と森林保護を通じ、森林への馴染み・矢作川源流への感謝の気持ちを持ち併せて、この環境を活かして安城市民が自然の中で森林浴や散策を楽しむことを目的として、林道等の整備・維持及び針広混交林化を進めていきます。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		5,015	3,025	3,245
事業費	事業費	3,005	835	1,420
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	1,420
	一般財源	3,005	835	0
	人件費計	2,010	2,190	1,825
	正規（人）	0.30	0.30	0.25
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	矢作川水源の森委員会 開催 1 回 水源の森の現況調査及 び針広混交林化に向け て信州大学との意見交 換会実施	矢作川水源の森委員会 開催 1 回 水源の森の現況調査及 び針広混交林化に向け て信州大学との意見交 換会実施	矢作川水源の森委員会 開催 1 回 水源の森の現況調査及 び針広混交林化に向け て信州大学との意見交 換会実施

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102220 資産経営課資産管理係
事務事業 02402 森林保護対策事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
森林の保全面積	ha	0.00 47.15	47.15 47.15	47.15 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		地方公共団体間で実施するものです。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		安城市をはじめとする矢作川流域住民のためです。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		森林内の保全・整備を行います。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		地方公共団体間で情報交換を行います。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		地方公共団体間で適切に情報交換を行います。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	平成3年度から30年間行ってきた分収育林協定が令和3年度に満了を迎え、令和4年4月1日からは根羽村と新たに期間の定めのない環境育林協定を締結しました。この協定を安城市と根羽村共同で森林を維持してきた新たなシンボルと位置づけ、針広混交林への移行を主体とし、環境・公民連携といった視点に立った事業を継続していきます。また、森林の現況調査や学識経験者との意見交換を行い、今後も調査研究を行います。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度令和 7年度進捗区分2 次評価

所属0001102220 資産経営課資産管理係

事務事業02403 普通財産取得事務

電話番号0566-71-2210

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	033	普通財産取得事務			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	区画整理などの事業を推進するため、普通財産として用地を先行取得し公共事業の円滑化を図ります。

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		335	365	366
事業費	事業費	0	0	1
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	1
	人件費計	335	365	365
	正規（人）	0.05	0.05	0.05
その他経費		0	0	0

	令和 6年度 事業用地の取得実績なし	令和 7年度 事業用地の取得実績なし	令和 8年度 事業用地の取得予定なし
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102220 資産経営課資産管理係
事務事業 02403 普通財産取得事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	市の事業等のため、市が取得するものです。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	市の事業等のため、市が取得するものです。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	事業課からの依頼に応じて、適切に取得しています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	事業課からの依頼に応じて、適切に取得しています。				

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	市の事業等に関わって、必要に応じて市が取得していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001102220 資産経営課資産管理係

事務事業 03570 公用バス運行事務 電話番号

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	004	行財政運営			
分野別	001	1 7 行財政運営			
施策の取組	001	1 7 行財政運営 その他			
事務事業	055	公用バス運行事務			
事業期間	～				
実施方法	直営				
会計区分		事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	中型バス 1 台・マイクロバス 1 台により市民活動の研修会場などへの安全運行を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		13,644	35,388	16,139
事業費	事業費	7,949	29,183	10,299
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	7,949	29,183	10,299
	人件費計	5,695	6,205	5,840
	正規（人）	0.85	0.85	0.80
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	大型バス 1 台の外部委託。 マイクロバス 2 台（1 台は外部委託）運行。 2 月からは、マイクロバスの外部委託を契約満了により終了。	大型バス 1 台の外部委託。 マイクロバス 1 台（市職員）の運行。	中型バス 1 台の外部委託。 マイクロバス 1 台（市職員）の運行。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102220 資産経営課資産管理係
事務事業 03570 公用バス運行事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		各課実施等のイベント等のため、市が行うものです。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		各課実施等のイベント等に必要です。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由						
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		マイクロバス1台を除き、外部委託しています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		運行に必要な適切な台数を保有しています。				

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	中型バス及びマイクロバスを保有し、中型バスは運行業務を外部委託し、マイクロバスは市職員にて運行しています。バスが必要となる市の業務を滞りなく行えるよう調整していく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。